



指扇中だより

～WE LOVE SASHIOGI!～



〒331-0078 さいたま市西区西大宮 3-31-1 TEL 048(624)6234 FAX 048(624)2479

『思いやりの心』

教頭 おおさわ たかふみ
大澤 貴史

今月の学校だよりは、しおみつよしひさ 汐満禎久校長に代わり、私が担当させていただきます。教頭として日々の教育活動で大切にしている想いを、子どもたちに向けて書きたいと思えます。

そのキーワードは「思いやりの心」です。日々の学校生活や社会の中で、私たちが豊かで幸せに暮らしているのは、他の人たちが「思いやりの心」をもって支えてくれているからです。他人を思いやる行動は、巡り巡って自分自身をも成長させてくれます。

「思いやりの心」を物事の判断基準にしたり、行動規範にしたりした有名な人はたくさんいますが、全ての人自分が自分を犠牲にしてまでと考えていたのではありません。むしろ、他者と自分の両方を大切にしながら、思いやりのある行動を積み重ねていくことが、社会をより良くして、結果的に自分の成長に繋がっているようです。アニメ「ドラえもん」の、のび太くんの行動を思い返してみましよう。のび太君の行動には「思いやりの心」を感じることができます。彼は、困っている友達や動物のためにいつも全力を尽くします。友達を助けるために危険を承知で行動する姿には心が動かされます。のび太くんは、自分を犠牲にしているのではなく、誰かを助けることで、自分自身の喜びや成長を感じています。

さて、中学校3年生が4月に実施した「全国学力・学習状況調査」で、生徒への質問項目に、「人が困っているときは、進んで助けていますか」「人の役に立つ人間になりたいと思えますか」という問いがありました。このことは、学力と同じくらい、「思いやりの心」が社会から求められていることの現れだと私は思っています。「思いやりの心」を意識した行動は、小さな一歩から始められます。困っている人を手伝うこと、友達に優しい言葉をかけること。どれも特別なことではありません。「思いやりの心」を一層大切にする指中生となってください。

地域および保護者の皆様には、日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき心より感謝申し上げます。皆様のお力添えが、子どもたちが安心して学べる環境をつくっています。これからもどうぞよろしくお願ひいたします。

